芦北町立佐敷中学校　学校便り
# けやき
第７号
R4、10、31 発行　文責 光山

【校訓】
自主
根性
協同

# 感動！思い出！佐敷中文化祭
## 『Step to the future ～未来を創る思い出の１ピースを～』

十月十五日(土)に実施した文化祭、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために、学年ごとの発表と合唱を重ねて行い、保護者・家族の参観も学年ごとに入れ替わっていただく形をとりました。一年生では「芦北支援学校との交流」を、二年生の職場体験を通して考えた「今のぼくらにできること」を、そして三年生は、様々なことに思い悩み、考えている姿を表した「マイライフ」を発表してくれました。シリアスなものだけでなくユーモアにあふれた演技もあり、心を揺さぶられるものばかりでした。合唱コンクールでは、学年が進むにつれ、全体のチームワークやハーモニーが高まり、聴衆の心を打つ表現になっていました。音楽の時間を核にして、本番までに学級全員で創り上げるための練習を重ねてきたこと、本番に向けた生徒全員の思いがしっかりと伝わってきました。参観は、新型コロナ対応のために、子供さんが在籍している学年の発表だけではありましたが、保護者の皆様にも生徒も思いがしっかりと伝わったように思いました。すばらしい発表と合唱を届けてくれた佐中生に「ありがとう」と伝えたいです。

本年度は、午前中に生徒の活躍の場を設け、午後の部も開催しました。午後の部では、自分の夢を実現するために努力している高校生の姿、そして、ピアニストという自分の夢を実現し、プロの演奏家として活躍しておられる方の演奏を聴いて、生徒一人一人が自分の夢について改めて考える機会としてほしいという願いを込めて企画しました。特に、プロのピアニストは、芦北町教育委員会から佐敷中復興祈念として黒木遼さんをお招きすることができ、大変ありがたかったです。また、自分の夢実現のために努力している人として、タカラジェンヌを目指している高校生一年生福本桜子さんにバレエを発表していただきました。二人の姿から、自分の夢やそれを実現するために必要なこと等を改めて考えてほしいという願いを込めてバレエ鑑賞、ピアノリサイタルを行いました。最後には、ピアノとバレエ、それに独唱のコラボという形で「美女と野獣」を鑑賞できました。午前、午後ともに充実した佐中文化祭となりました。

## 生徒会役員改選選挙～選ぶだけでなく、思いを全体で共有し、佐敷中を発展させる契機に！

### 佐中生の良さ、あたたかさ！！

**10 月 28 日(金)の給食の時間に、役員改選の結果発表を行いました。立候補者は、別室（調理室）に集まって給食を食べ、緊張の瞬間を待つことになりました。全校放送の前には本人たちに結果が伝えられ、様々な思いが交錯した中で、全校への発表を待っていました。その後、選挙管理委員長から、当選者の発表を放送を使って全校に伝えられました。**

**当選者の放送が終わり、たくさんの拍手が上がった後のことでした。3年生が廊下に集まり、調理室にいた 8 人の候補者に向かって、「ナイススコール」をはじめたのです。3 年生の 2 階から始まり、1 階の 2 年生、3 階の 1 年生も廊下に集まり、全校生徒が立候補した一人一人の名前を呼び生徒全員で「ナイスコール」を伝えてくれました。それまでの選挙運動立会演説会だけなく、立候補をするまでの葛藤や不安、そして立候補をした決断等、たくさんの心の揺れがあった中で、今まで踏ん張ってきたことへのエール、「次は任せたぞ」という３年生の思いが込められていたのだと思いました。そこには、この文章では伝えきれない感動がありました。選挙ですから、当選落選はつきものですが、8 人への「ナイスコール」によって、当落は別にして、団結し、佐敷中をもっとより良い学校にしようという思いを共有できたように感じました。これこそ、佐敷中の良き伝統、佐中プライドを体現している姿だと思いました。**

**このようなすばらしい場面に出会えた私たち教職員も幸せです。**

### おめでとうございます

**10月 27 日(木)に令和 4 年度役員改選選挙及び立会演説会があり、即日開票が行われ、翌日 28 日に新役員の発表がありました。4日間の選挙運動期間中に生徒会長、生徒会副会長、議長の候補 8 人が、それぞれの公約を掲げ、精一杯アピールしてくれました。立会演説会では、それぞれの公約に対して、フロアの生徒から様々な質問があり、それらに対して立候補者は丁寧な返しを行い、2 時間があっという間に終わったと感じるくらい充実した内容となりました。**

**今回の生徒会役員改選選挙を通して、佐中生のすばらしさにたくさん気付くことができました。一つは、当選した 3 人はもちろんですが、立候補した 8 人が、佐敷中生徒会をより良くするために大切だと思う公約を自分の言葉でまとめ、全校生徒にしっかりと伝えたことです。実現不可能な絵空事ではなく、日常生活の中で感じていたことをそれぞれの視点から公約にまとめていたところがよかったです。もう一つは、立候補者の公約を、メモをとりながら熱心に聞き、質問につないだ 3 年生がいたこと、そして、質問時間が足りなくなるほどに積極的に質問をする佐中生の姿があったことです。3 年生の意識の高さ、自覚の高さに感心するとともに、1 年生、2 年生が 3 年生の姿から着実に学んでいるということを実感できました。最後は、生徒全員が立候補者に質問をする発表者のほうに体を向けて聞いていたことです。 佐敷中の徹底五項目が、すべての生徒に浸透している実感できる場面でした。**

**【あとがき】**

登校時間には相逢橋や七瀬橋の袂にたって登校指導をしています。本校の生徒は止まっていただいた車に対して「ありがとうございます」の言葉やお辞儀をして感謝の気持ちを伝えることができます。素晴らしい生徒たちだと思う毎日です。一方、車の方に目を向けてみると、立っている私に向かって頭を下げてくださる方がいらっしゃいます。保護者の方はもちろんですが、地域の方も車の中からたくさん挨拶をしてくださいます。一度も会話をしたことのない人がほとんどですが、心が「ほっこり」します。こんな地域や保護者の皆様の姿、学校への思いが、今の佐敷中の生徒の良さを創っていると思うばかりです。（光）